

実施日	視察先	視 察 項 目	備 考
4月25日	奈良県 奈良市	奈良市起業家支援事業の取り組みについて	現地視察
4月26日	大阪府 大阪市	大阪城公園パークマネジメント事業における官民連携手法について	市役所 現地視察
4月27日	岡山県 倉敷市	倉敷駅周辺のまちづくりについて	市役所

視察先	項 目	調査内容
奈良市	奈良市起業家支援事業の取り組みについて	<p>奈良市の起業家支援事業は、「きらっ都・奈良」を拠点に、奈良市・地元9商店街・商工会議所・地元銀行が出資する「株式会社まちづくり奈良」を中心に行われている。</p> <p>この「株式会社まちづくり奈良」であるが、平成23年の暮れに設立され、資本金は1,410万円。奈良市が43%、地元9商店街が46%、商工会議所が7%、地元銀行が4%出資している。</p> <p>拠点施設である「きらっ都・奈良」は、近鉄奈良駅からほど近い興福寺門前の「もちいどのセンター街」にある。平成3年に社会教育施設として建設された市の建物であるが、事業仕分けで閉鎖されていたものをリニューアルして、「まちづくり奈良」の設立に合わせて平成24年に起業家支援拠点としてオープンしている。</p> <p>1階部分は物販・飲食分野の「店舗型インキュベーション」施設で、入居期限が原則3年間の9つの店舗と、原則1週間のチャレンジショップ。9つの店舗は全部埋ま</p>

		<p>っていて、既に退去した人を含め 22 人が起業を果たしている。</p> <p>2 階は、「NARA EGG (奈良エッグ)」という名前で、起業を目指す人、既に事業を起こしているが活動拠点として自由に使えるスペース「出会いと気づきの場」と言っている。イベントの会場としても使われ、「奈良あきない塾」というセミナーが昨年度は 8 回行われている。</p> <p>4 階は「オフィス型インキュベーション」施設で 6 室ある。視察したときは入居は 1 人だけであったが、オープンからここを拠点にして 8 人が起業して巣立ったそうである。</p> <p>毎月 1 回「テナント会議」が開かれ、さまざまな要望や相談に起業支援マネージャーが対応している。</p> <p>今は、地元商店街で空き店舗を探すのがなかなか困難になっているという話であった。</p>
大阪市	大阪城公園パークマネジメント事業における官民連携手法について	<p>この事業は平成 27 年 4 月から始まった。</p> <p>大阪市の説明では、「平成 24 年 12 月に大阪府と市で策定した大阪都市魅力創造戦略の中で、大阪城公園を重点エリアの一つに位置づけて、世界的な観光拠点にふさわしいサービスの提供や新たな魅力の創出を図るため、民間主体の事業者が公園全体を総合的かつ戦略的に一体管理する P M O 事業を導入した」とのことである。</p> <p>P M O はパーク・マネジメント・オーガニゼーションの略であるが、事業者は、指定管理者制度による公園の指定管理者とし</p>

		<p>ただけではなく，大阪城公園の観光拠点化に向けて，新たな魅力ある施設の整備や既存の未利用施設の活用を実施するとしている。</p> <p>平成 25 年に事前事業提案の募集，26 年 6 月に事業者募集，10 月に事業者決定，12 月に市議会で議決して，27 年 4 月から事業が開始されている。</p> <p>事業者は共同事業体で，電通，読売テレビ，大和ハウス，大和リース，N T T ファシリティーズの 5 社で構成している。</p> <p>公園管理以外の新たな事業としては，十数年前に新しい市立博物館ができてから使われていなかった元の博物館を耐震改修してレストランなどにリニューアルした「M I R A I Z A O S A K A - J O」，また，大阪で A P E C が開催されたときに建設されてその後ほとんど利用されなかった大阪迎賓館を予約制レストランに改装，大阪城公園駅前に「J O - T E R R A C E O S A K A」という飲食・物販を主とした大型利便施設の整備などが行われている。</p> <p>事業者からの大阪市への納付金は，固定額としての 2 億 2,600 万円と，事業収益の 7 %，平成 29 年度は 3,400 万円の，合わせて 2 億 6,000 万円とのことである。ただ，市直営のときから大阪城公園の運営は黒字で，固定額の 2 億 2,600 万円はその黒字相当額とのことである。正確な数字は言わなかったが，事業者は既に数十億円の投資をしているため，採算性の観点から事業期間は 20 年となっている。</p>
--	--	--

		<p>大阪城公園は大部分が国有地で，大阪城跡は特別史跡なので，関係法令に沿って事業を行うため，近畿財務局や文化庁と協議を重ねて実施しているとのことである。「市民の声の中には，あまりに商業的すぎないかとの意見もいただいているが，全体としてはよい評価をいただいていると認識している」とのことであった。</p>
倉敷市	倉敷駅周辺のまちづくりについて	<p>倉敷市では平成 21 年に倉敷市中心市街地活性化基本計画を策定し，4 つの集客エリアを設定して，それぞれに新たな魅力を創出して，その相乗効果でより大きなにぎわいと活力を呼び起こすことを目指して，取り組みが進められている。</p> <p>駅の北側は，県が 500 億円出資して平成 9 年に開園し，平成 20 年末に閉園した「倉敷チボリ公園」の跡地である。ここに進出した 2 つの大規模商業施設と，それに挟まれた土地 2.1 ヘクタールを市が確保してつくった「倉敷みらい公園」がある駅北地区。</p> <p>駅から南側に少し離れた地域は，江戸時代中期から町並みが形成され保存されてきた「美観地区」。</p> <p>駅南地区では，JR 山陽本線の連続立体交差化と，区画整理事業が計画されている。</p> <p>駅東側は，倉敷中央病院を中心とした地区である。</p> <p>倉敷市の基本計画が「それぞれに新たな魅力を創出して，その相乗効果でより大きなにぎわいと活力を呼び起こす」としてい</p>

		<p>るのは，年間来客数 1,300 万人の駅北と，年間 350 万人の観光客が来る「美観地区」を，鉄道の立体交差化と町並みの整備で結んで，その相乗効果で駅南の地区にもにぎわいを取り戻そうということのようである。</p> <p>伝統的な町並みという点では，旧来の伝統的建造物保存地区のもう一回り広い地区にも目を向けて，古い建物の積極的な改修・整備，電線の地中化などを行うことで，ほとんど人通りのなかった道に 1 日に何万人も来るようになって，空き家や空き店舗があつという間に埋まってしまったというような変化をつくり出している。</p> <p>地域にある市民の力と宝物を徹底して生かす，さらに発掘して広げていくという方向は，柏市も参考になると感じた。</p>
--	--	--